

2019年3月26日

武田テバファーマ株式会社

効能・効果、用法・用量の追加に関するお知らせ エトポシド点滴静注 100mg 「タイヨー」

武田テバファーマ株式会社(本社:愛知県名古屋市、CEO 兼社長 松森浩士)は、エトポシド点滴静注 100mg「タイヨー」につきまして、本日3月26日(火)付で下記の効能・効果および用法・用量の追加承認を取得したことをお知らせいたします。

記

<p>効能・効果</p>	<p>肺小細胞癌、悪性リンパ腫、急性白血病、睾丸腫瘍、膀胱癌、絨毛性疾患、胚細胞腫瘍(精巣腫瘍、卵巣腫瘍、性腺外腫瘍)</p> <p>以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法</p> <p>小児悪性固形腫瘍(ユウイング肉腫ファミリー腫瘍、横紋筋肉腫、神経芽腫、網膜芽腫、肝芽腫その他肝原発悪性腫瘍、腎芽腫その他腎原発悪性腫瘍等)</p> <p><u>腫瘍特異的T細胞輸注療法の前処置</u></p>
<p>用法・用量</p>	<p>1. エトポシドとして、1日量60～100mg/m²(体表面積)を5日間連続点滴静注し、3週間休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。</p> <p>なお、投与量は疾患、症状により適宜増減する。</p> <p>2. 胚細胞腫瘍に対しては、確立された標準的な他の抗悪性腫瘍剤との併用療法を行い、エトポシドとして、1日量100mg/m²(体表面積)を5日間連続点滴静注し、16日間休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。</p> <p>小児悪性固形腫瘍(ユウイング肉腫ファミリー腫瘍、横紋筋肉腫、神経芽腫、網膜芽腫、肝芽腫その他肝原発悪性腫瘍、腎芽腫その他腎原発悪性腫瘍等)に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合</p> <p>3. 他の抗悪性腫瘍剤との併用において、エトポシドの投与量及び投与方法は、1日量100～150mg/m²(体表面積)を3～5日間連続点滴静注し、3週間休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。</p> <p><u>腫瘍特異的T細胞輸注療法の前処置の場合</u></p> <p><u>再生医療等製品の用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。</u></p>

(下線は追加された箇所)

以上